

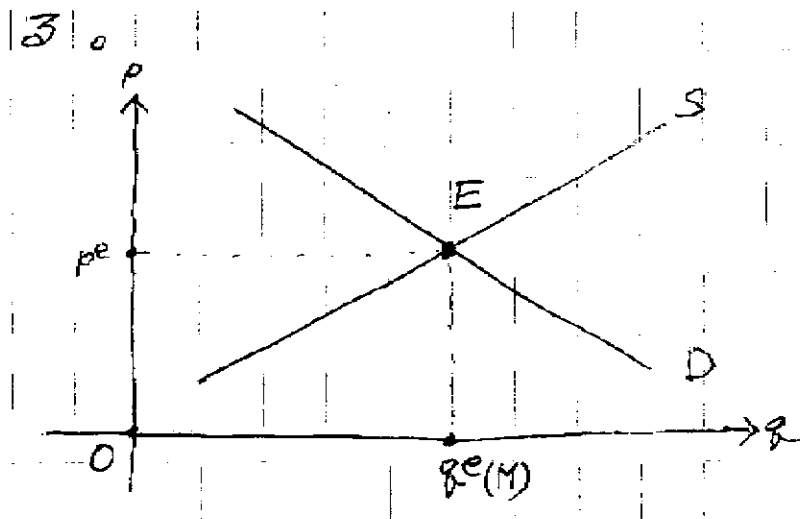
第3回（2012年）中日社会主義フォーラムの報告論文「マルクス主義的社会主義の歴史的役割」で論述したように、私の社会主義論は、史的唯物論的社会発展段階論に立脚するのではない。前近代社会（交換・再分配・互酬の融合・混合）から近代社会に向かう発展における三つの理念（自由、平等、友愛）の登場とそれら三理念を引張り、また引っ張られ、また三理念を支え、また支えられる三種の経済システム（市場、計画、協議）の自立的出現の歴史的・現代的意味を確認するものである。

自由 ↔ 市場メカニズム、平等 ↔ 計画システム、友愛 ↔ 協議ネットワーク。

先ず、市場、計画、協議の仕組みを最も単純な形で図式化し、それぞれの働きを概略しよう。

経済システムの基本課題は、経済社会における消費（＝人間の再生産）と生産（人間再生産手段の再生産）の調和を需要（消費＋投資）＝供給（生産）の形で保証することである。

●市場図 I



●市場図 I

市場メカニズムの均衡条件

α 条件 需要量＝供給量＝ $q_e(M)$

β 条件 需要価格＝供給価格＝ p_e

調整の要が S 曲線と D 曲線の交点に表現されているので、点調整と呼ぶ。

計画システムの均衡条件

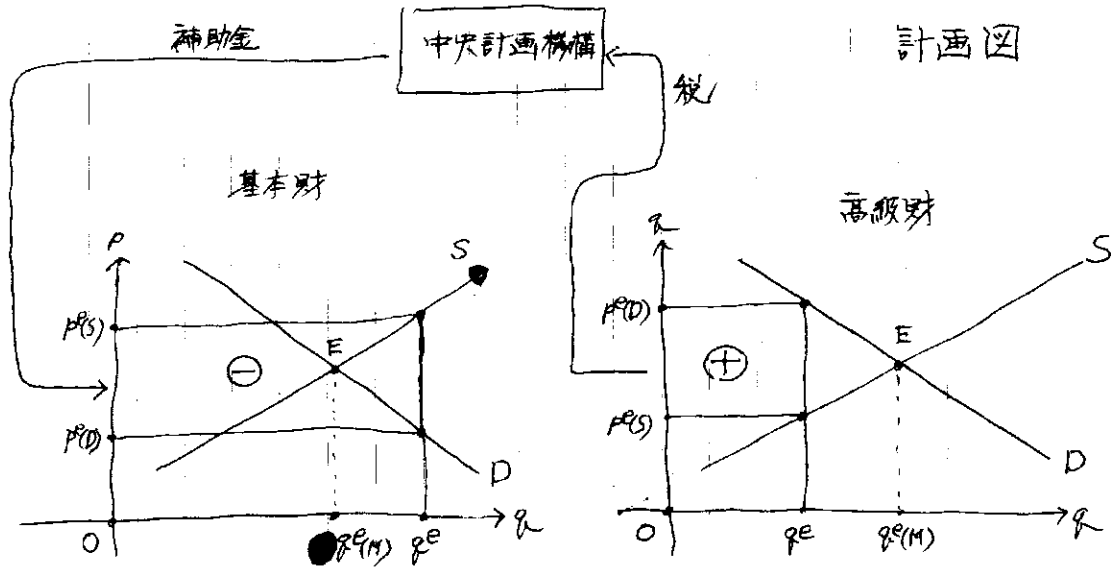
α 条件 需要量＝供給量＝ $q_e \langle \rangle$ α 条件 需要量＝供給量＝ $q_e \langle \rangle (M)$

β 条件 \ominus の合計＝ \oplus の合計

調整の要めは、 \ominus と \oplus の大きさを規定する矩形の横線と縦線に表現されるので、線調整と呼ぶ。調整が純粋な計画システムによって行われる場合の問題に関しては、第2回

（2010年）中日社会主義フォーラムの報告論文「社会主義計画経済から市場経済へー

東ヨーロッパの経験の理論的分析」で論述してある。



協議ネットワークの均衡条件

- α 条件 需要量=供給量 - q (甲) $(q(z)) > q_e(M)$
 需要量=供給量 - q (丙) $< q_e(M)$

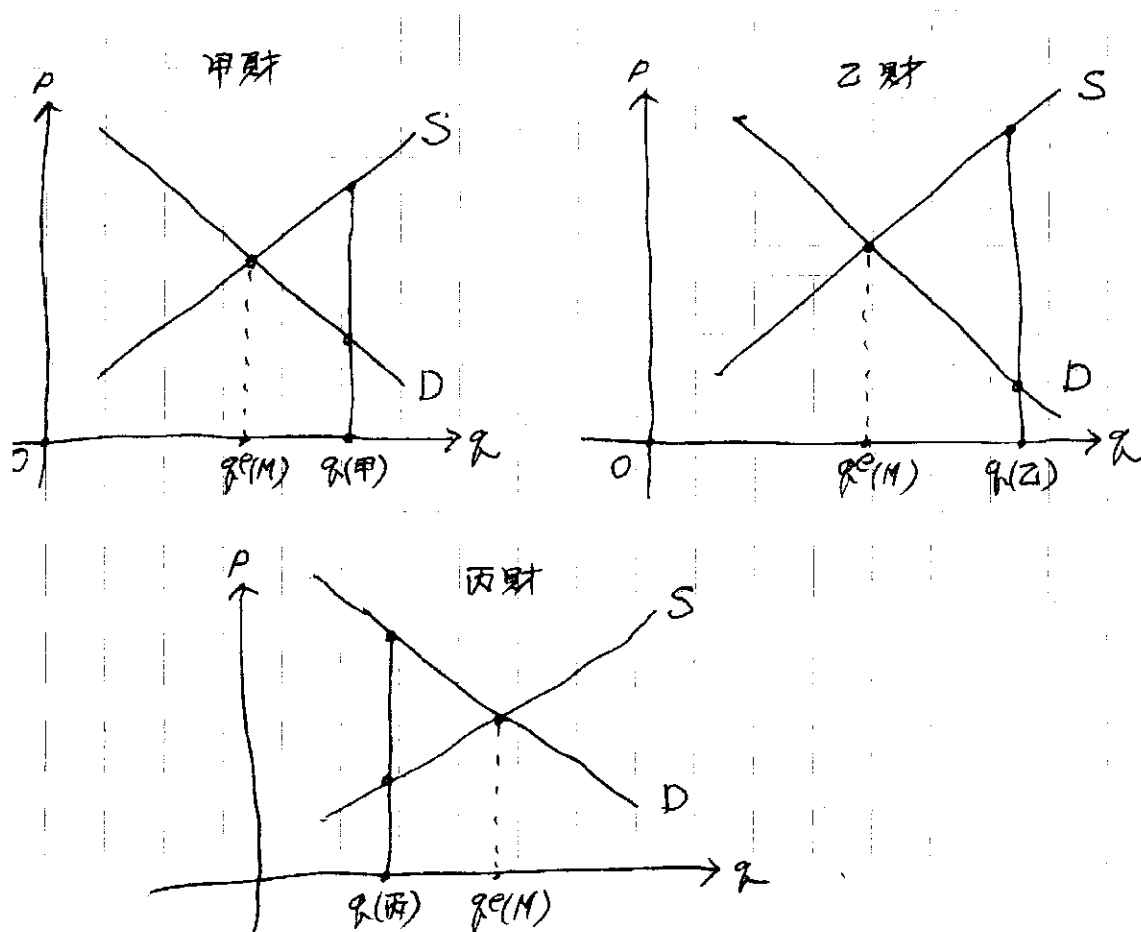
β 条件

$$\int_0^{q(\text{甲})} (D(q) - S(q)) dq + \int_0^{q(\text{丙})} (D(q) - S(q)) dq = \int_0^{q(z)} (S(q) - D(q)) dq$$

一見すると、あらゆる財において市場均衡量 $q_e(M)$ より大きい q 生産量・消費しても

を満足するよう出来る。しかしながら、それは、不可能である。何故ならば、すべての財政市場均衡●量以上生産することは、経済全体の資源制約が許さないからである。従って、丙財の存在が絶対に必要となる。

協議図



甲財は、甲財の生産者・消費者グループ内部協議で需給が調整できる。

であるが故である。乙財は $\int_0^{q(乙)} (D(q) - S(q)) dq < 0$ であるから、内部調整のみに頼れない。甲財と丙財の生産者・消費者グループを巻き込むより広い協議にならざるを得ない。上述のような需給調整ネットワークの要めは、S曲線とD曲線の下の0からq (甲 or 乙 or 丙) の面積が重要な目安になるので、面調整と呼ぶ。

一見して明らかな如く、市場メカニズムによる生産・消費構造の調整プロセスは、極く単純である。従って、その調整費用は、小さい。計画システムの調整プロセスは、中央計画機関が介入することになり、より複雑となる。従って、その調整費用は、より大きくなる。協議ネットワークは、各財内部の生産者と消費者による協議、諸財相互間の多面的協議から成り立ち、極端に複雑な調整プロセスであらざるを得ない。従って、その調整費用が調整結果のプラス効果を打ち消すほどに大きくなる事も十分にあり得る。

要するに、経済システムの維持・作動コストは、その複雑度（単純度）に正（逆）比例する。とすれば、システム・コストが最小である市場メカニズムだけを用いて、社会経済を運営する、それで良いのではないか。かかる結論が出てきそうである。

ここで、経済学者は、市場メカニズムが解決できない若干の難問を発見する。外部性や収獲逡増（費用逡減）である。

私は、この種の議論によって市場メカニズム以外の経済システムを説く立場に反対する者ではない。しかしながら、より根源的、より本質的問題が市場メカニズムの中に隠れている。誰が社会全体の目的関数、すなわち社会的厚生関数を決定するのか。換言すれば、真の社会経済政治的主権者は誰か、という大問題である。計画システムにおいては、党国家、或いは民主的政府が決定して、それを中央計画機構に指定する。そこから計画システムが作動し始める。協議ネットワークでは、協議プロセス参加者全員が部分集団の目的と社会全体の目的を模索しつつ、かつそれに導かれて、需要・供給の調整と生産・消費構造の発見に努力する。

それに対して、市場メカニズムでは、個別的経済主体の目的、すなわち消費者の個人的効用関数と個別生産者の利潤関数だけが働く。社会全体の目的関数なんて、全く不用である。プラスして、初期資産の私的所有の分布が与えられれば、生産と消費の構造は、完全にパレート最適として決定されてしまう。

ところが、現代経済学に「根岸理論」（1960年）がすでに半世紀以前から存在していた。競争的市場経済の一般の均衡点は、ある社会的目的関数（社会的厚生関数）の最大化問題の解であると解釈できる。その社会的目的関数は、各個人の指摘目的関数＝個別的効用関数 \times 各人の所得の限界効用の逆数をウェイトとして足し算・合計した形をとる。*

*Mario TIRELLI, Negishi's approach to Walrarian equilibria Handout 2.2010 で検索

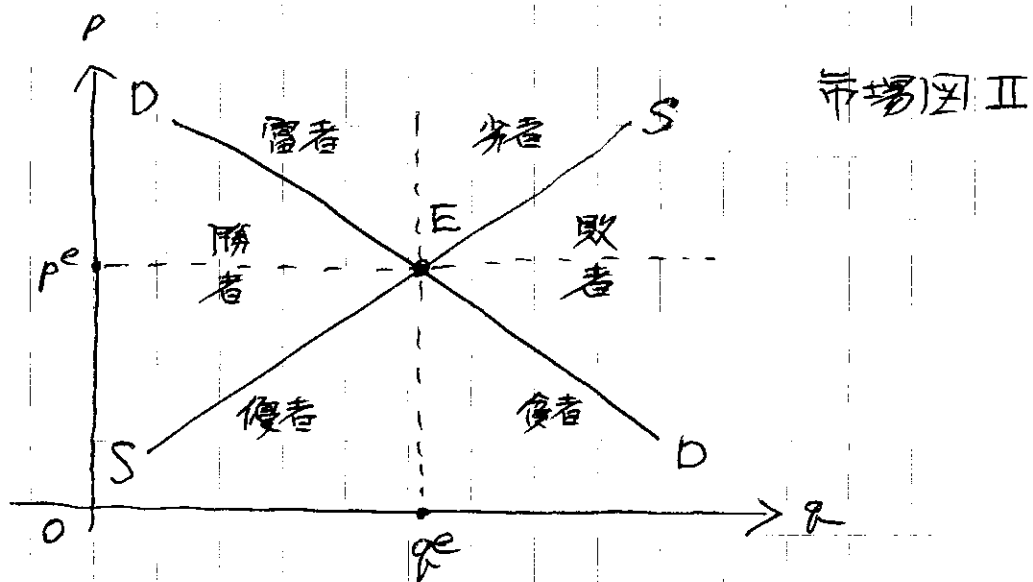
かかる社会的目的関数を政治経済学的に日常用語に翻訳すると、どういう意味を開示するであろうか。一般に各財（基本財・高級財、甲・乙・丙財）の消費量は、富者の方が貧者よりも大きい。従って、各財の限界効用は、富者の方が貧者より小さい。従って、各財を購入できる所得の限界効用は、富者の方が貧者より小さい。所得の限界効用の逆数は、富者の方が貧者より大きい。すなわち、貧者よりも富者の個人効用が高く評価されるような社会的目的関数が市場メカニズム固有の属性なのである。人口の1%が社会的富の99%を所有する国の市場経済においては、1%の個人的効用が社会的厚生とほぼ同一視される。超富者が社会経済政治的主権者である。

社会がかかる社会的目的関数を全肯定しているとアブリアリに想定する根拠は、全く存在しない。何か別の真の社会的目的関数を有しているとして、その最大化を体現する生産・消費構造は、市場メカニズムの下のもそれとは必ず異なる。ある財は、市場均衡量より大きい。また別の財は、それより小さい。

それでは、真の社会的目的関数とは何か。それを発見し、定式化する事は、市場に出来ることではない。また市場の仕事でもない。社会主義的、あるいは民族主義的社会運動、そして政治の任務である。

かくして、計画や協議が経済社会から消え去ることなく、市場と並んで、然るべき役割を演じざるを得ない。

最後に、市場メカニズム自体に貧富の差を縮小させる能力が内在せず、かえって増大させる必然性が内在する事を市場図Ⅱを用いて説明しておこう。



市場図IIにおいて、線分「DE」が富者、線分「ED」が貧者を表現する。線分「SE」が優者、線分「ES」が劣者を表現する。売れない「ES」と買えない「ED」が市場競争における敗者であり、売れる「SE」と買える「DE」が市場競争における勝者である。点 q_e への垂直線「 $q_e E \dots$ 」が勝者と敗者を分かち。たまたま、富者と劣者が大きく重なり、優者と劣者が大きく重なる場合のみ、貧富の格差が小さくなる。富者と優者が重なり、貧者と劣者が重なる事象の方がはるかに高い確率で生起するであろう。

今日、現実においても、理論においても市場主義が隆盛を極めていいる。私は、資本主義的市場を全否定する者ではないが、上記で説明した理由の故に、マルクス主義的であれ、ノンマルクス主義的であれ、社会主義的計画と社会主義的協議の濃度を経済社会の内部に高めたい。

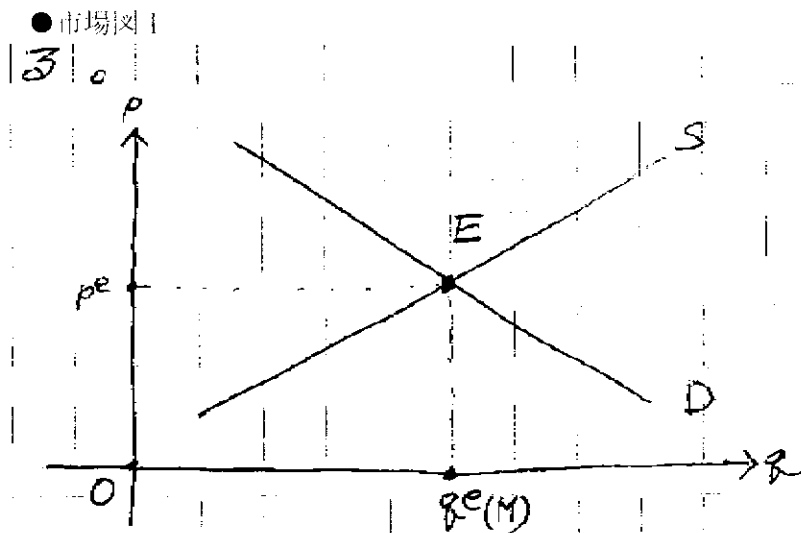
平成25年10月13日

第三次（2012年）中日社会主义论坛我的报告论文《马克思主义社会主义的历史作用》中已经提出，我的社会主义论并不是基于历史唯物论的社会发展阶段论的。从现代社会之前（交换、再分配、互酬的融合）向现代社会发展过程中，随着三个理念（自由、平等、友爱）的出现，在此三个理念的相互作用中三种经济体系（市场、计划、协议）也随之登上历史舞台。

自由 ↔ 市场机制、平等 ↔ 计划体系、友爱 ↔ 协议网络

首先，将市场、计划、协议的结构加以图示，对各个构成部分加以简单的概括。

经济体系的基本课题在于经济社会中的消费（=人类的再生产）和生产（人类的再生产手段的再生产）的调节通过需要（消费+投资）=供给（生产）来加以保障。



● 市場図 I

市场机制的均衡条件

α 条件 需求量 = 供给量 = $gc(M)$

β 条件 需求价格 = 供给价格 = p_e

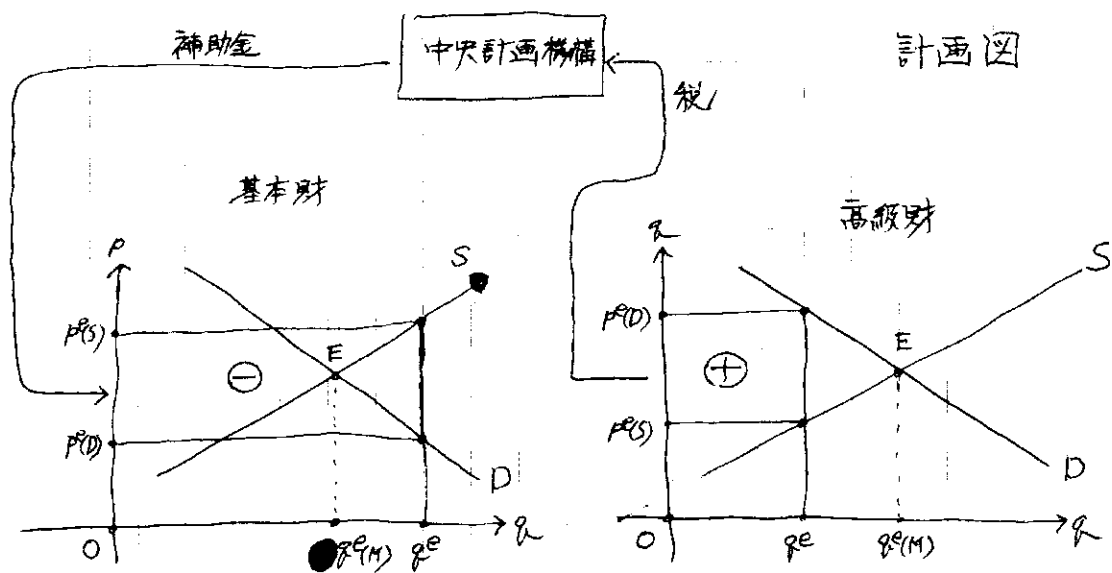
由于调整是由 S 曲线和 D 曲线的交叉点来表达的因此被称为点调整。

计划体系的均衡条件

α 条件 需求量 = 供给量 = $gc <> \alpha$ 条件 需求量 - 供给量 = $gc <> (M)$

β 条件 ○ 的合计 = ○ 的合计

调整的要点在于，规定 ○ 和 ○ 大小的矩形中的横线和竖线来表现因此被称之为线调整。调整是根据纯粹的计划体系来进行的问题，在第 2 界（2010 年）中日社会主义论坛中已经通过《从社会主义计划经济到市场经济——东欧经验的理论分析》一文中已经加以论述。



协议网络的均衡条件

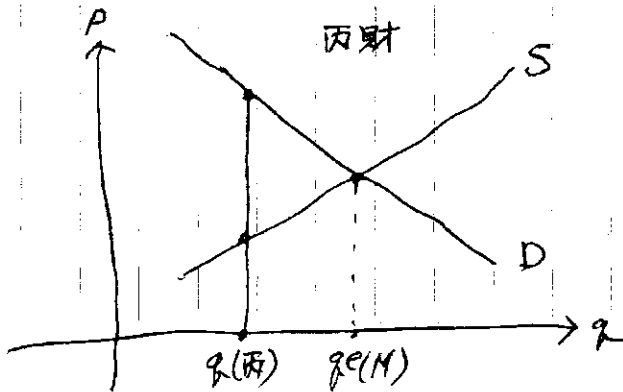
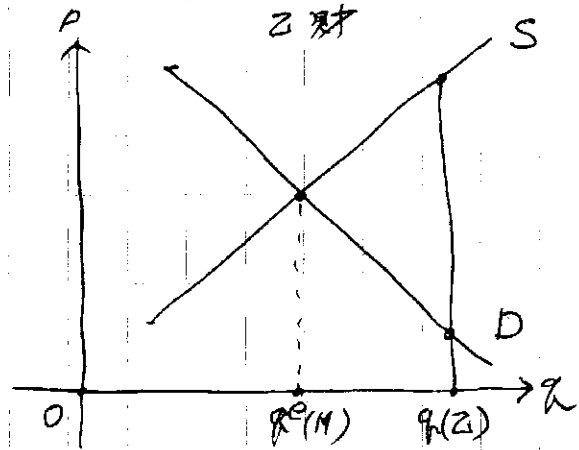
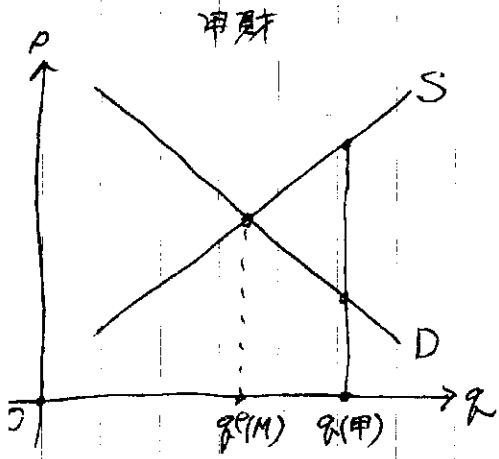
- α 条件 需求量 - 供给量 = q (甲) (q(z)) > qe(M)
- 需求量 - 供给量 = q (丙) < qe(M)

β 条件

$$\int_0^{q(z)} (D(z) - S(z)) dq + \int_0^{q(丙)} (D(z) - S(z)) dq = \int_0^{q(z)} (S(z) - D(z)) dq$$

从表面上看，所有的产品都可以满足超出市场均衡量qe(M)实现q生产量、消费。但是这是不可能实现的。因为所有的超出财政市场均衡量的生产，无法满足经济整体资源制约，因此丙的存在是绝对必要的。

協議圖



甲是由生产或者消费的群体内部通过协议来调整甲的需求与供给的。

$$\int_0^{q(甲)} (D(q) - S(q)) dq > 0$$

$$\text{乙是 } \int_0^{q(乙)} (D(q) - S(q)) dq < 0$$

因此无法进行内部调整。与其说将甲和乙的生产和消费群体圈入进来,而是应该进行更加广泛的协议。如上所述,需求与供给的调整网络的重点在于S曲线和D曲线下方的0到q(甲或者乙或者丙)的面积,因此称之为面调整。

显而易见,通过市场机制调节生产、消费结构的过程非常单纯。因此调整费用也非常小。计划体系的调整过程由于需要中央计划机构的参与,较为复杂。因此调整费用也较大。协议网络,由于需要内部生产者和消费者的协议,各个产品之间的多层次的协议,因此其调整过程极为复杂。因此其调整费用巨大基本可以超过调整结果中存在的正面效应。

也就是说,经济体系的维持和运营成本和其复杂度(单纯度)成正比。如果是这样那么仅仅依靠体系成本最小的市场机制来运行社会经济是不是最有效?

在此过程中,经济学家们发现了一些市场机制无法解决的问题。外部性和收益递增(费用递减)。

从我个人角度来说,我并不反对用以上内容来解释市场机制以外的经济体系。但是,更深层,更具有本质性的问题隐藏在市场机制中。那就是到底由谁来决定社会整体的目标函数,也就是说谁来决定社会的福利函数?换句话说,社会经济政治的主权人到底是谁?这是一个大问题。

题。在计划体系中，由党国，或者民主的政府来决定，由中央计划机构来制定。计划体系开始运作。而在协议网络中，协议过程中参与者在局部集体和社会整体中探索，以致于发现需求、供给的调整和生产、消费的构造。

而市场机制则以个别的经济主体为目的，也就是消费者的个人效用函数以及个别生产者的利润函数来决定。基本不需要社会整体的目标函数。此外，初期资产的私有分布也是被赋予的话，生产和消费的构造完全根据帕累托最优来决定。

但是，现代经济学中“根岸理论”（1960年）已经存在了半个多世纪。竞争市场经济的一般均衡点和某一社会的目标函数（社会的福利函数）的最大化问题同解。这一社会目标函数是由每个个人的目标函数=个别的效用函数+个人的收入的边际效应的倒数加权后的总额。*

*Mario TIRELLI, Negishi's approach to Walrarian equilibria Handout 2, 2010 来检索社会目标函数用政治经济学的日常用语来翻译的话，不知道应该是什么意思???

一般情况下，各种产品（基本商品、高档产品、甲乙丙）的消费量，富人比穷人大。因此各个商品的边际效用来看，富人要高于穷人。因此购买各个商品收入的边际效用来看，富人要低于穷人。收入的边际效应的倒数来看，富人要高于穷人。也就是说，相较于穷人，富人的个人效用评价较高的社会目标函数是市场机制所固有的属性。人口总数1%占社会财富总额99%的国家的市场经济，1%的个人的效用可以和社会福利可以视为一体。巨富是社会经济政治的主权人。

社会的社会目标函数完全肯定作为先验的依据根本就不存在。如果有其他真正的社会目标函数，其表现生产和消费结构最大化的结果应该完全与市场机制是不一样的。某一商品，要超过市场均衡量，某一商品要小于市场均衡量。

那么真正的社会目标函数是什么？要发现并数式化，无法通过市场来实现。而是需要通过社会主义或者民族主义的社会运动来实现。这是一个政治性任务。

计划以及协议并不应该从经济社会中消失，而是与市场一起起到其应有的作用。

最后，市场机能本身并没有缩小贫富差距的能力，相反其必然将扩大贫富差距。如图1所示。

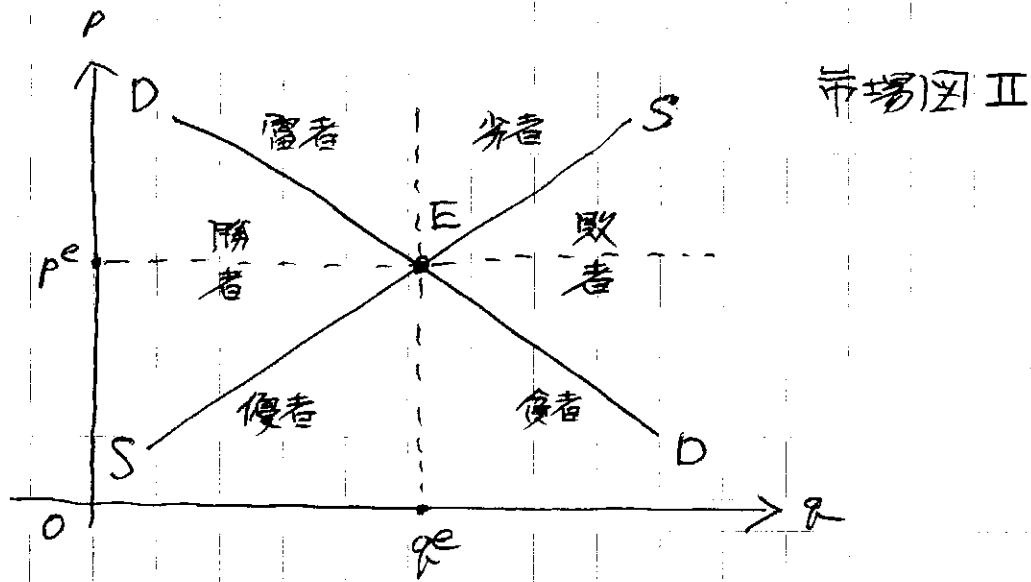


图1

1中 [DE] 表示富人，[ED] 表示穷人。[SE] 表示处于优势的人，[ES] 表示处于劣势的人。卖不出去 [ES] 和无法购买 [ED] 在市场竞争中只能成为失败者。卖得出去 [ES] 和能够购买 [ED] 在市场竞争中只能成为获胜者。链接点 q_e 的垂直线 [qeE ···] 区分了获胜者和失败者。偶然富人和劣势重叠，获胜者和劣势重叠的时候，贫富差异变小。富人和优势重叠，穷人和劣势重叠的概率要远远高于前者。

现今，不管是从现实角度还是理论角度，市场主义极为隆盛。我并不是完全否定资本主义，

但是从以上理由，不管是马克思主义还是非马克思主义，我希望在经济社会内部提高社会主义计划以及社会主义协议的重要性。

2013年10月13日